

# 令和3年度 福島議定書2021(事業所版)

## ～ゼロカーボンへの挑戦～

### 取組事例紹介



#### 「福島議定書」事業とは

学校や事業所が、二酸化炭素排出量の削減目標などを自ら定め、知事と「議定書」として取り交わし、主体的に省エネ・省資源などに取り組む事業です。

学校版は平成18年度から、事業所版は平成20年度から事業をスタートさせ、今年度でそれぞれ16年目、14年目となります。

なお、事業所版については従来編と、規模の大きい事業所を対象とした上級編があります(右図参照)。

取組内容は、二酸化炭素排出削減につながる省エネ・省資源等に取り組む「緩和分野」、気候変動の影響への対応に取り組む「適応分野」、プラスチックごみ対策に取り組む「重点分野」の3つに分かれています。

また、参加すると、エコドライブ講習会の講師派遣や、省エネルギーの取組に関する助言などを行う省エネアドバイザーの派遣を無料で受けることができます。



	従来編	上級編
対象事業所	県内事業所	「地球温暖化対策の推進に関する法律」の対象となる事業所等(年間エネルギー使用量が原油換算1,500kL以上の事業所等)
削減対象	二酸化炭素	温室効果ガス(二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素等)
基準年度	直近3ヶ年から任意で選択	前年度
取組期間	6月～11月より2～6ヶ月間を任意で選択	通年
取組報告時期	参加年度の12月末	参加年度の次年度の12月末
表彰時期	参加年度の2月	参加年度の次年度の2月

問合せ先

福島県環境共生課 〒 960-8670 福島市杉妻町2-16

◆TEL 024-521-7813 ◆FAX 024-521-7927 ◆E-mail ontai@pref.fukushima.lg.jp

◆HP



福島県の地球環境  
保全のキャラクター  
エコたん



未来のために 今やろう ゼロカーボン福島

## ◆ 令和3年度取組結果

今年度は、354校、1,796事業所の参加があり、約2,400世帯の1年分の排出量に相当する約9,500トンの二酸化炭素が削減されたと推計しています。

また、優良で模範的な取組を実施した21校、19事業所の計40団体を表彰しました。

## ◆ 令和3年度「福島議定書」事業取組事例発表

令和3年度の表彰式は、新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、最優秀賞を受賞した、会津若松市立小金井小学校、只見町立朝日小学校にオンラインで取組事例を発表していただきました。

発表には、知事、教育長、地球にやさしい“ふくしま”県民会議代表が出席しました。



取組事例発表の様子

## ◆ 発表者コメント

- ・学校のみならず取り組んだ結果、二酸化炭素を18.28%削減できました。取組を家庭にも広めていきたいと思っております。  
(小金井小学校)
- ・私たちの取組を多くの人に取り組んでもらうことで、私たちの古里はもちろん、福島県そして世界中を守りたいです。  
(朝日小学校)

## ◆ 知事挨拶 福島県知事 内堀 雅雄

今回は、新型コロナウイルスの感染防止にも配慮しながらの取組となり、皆さんとても大変だったと思いますが、参加していただいた多くの学校、事業所の皆さん、そして御家族や地域の方々が力を合わせて取り組んだ結果、約9,500トンもの二酸化炭素の削減につなげることができたのは本当に素晴らしい成果だと思います。皆さんの活動が模範となって、こうした取組の輪が福島県内全域へと更に大きく広がっていくことを期待しています。



## ◆ 講評 地球にやさしい“ふくしま”県民会議代表 渡邊 明

環境活動は、成果がすぐ目に見えないこともあり大変難しいのですが、皆さんが世代をつなぎ、地域をつないで、活動をしていることは大変素晴らしいと思います。

中学校に行っても、あるいは社会人になっても、関心をもちながら、みなさんのできる力として活動していただくといいなと思いました。





# 従来編 オフィス・店舗等部門 最優秀賞

## ◆CO2排出量削減に向けた取組

### 節電

- ・新社屋は照明すべてLED化（人感センサーあり）
- ・小まめに電源を消す 不在時はPC電源をオフ
- ・エアコン温度冬場は20℃
- ・階段の利用の推進
- ・屋上には太陽光パネル設置
- ⇒消費電力量は年間3分の2に削減！（旧社屋比）



### 節水

- ・トイレの水に雨水を使用
- ⇒年間 1,302 トン

### 再資源化の実施

- ・OA古紙の回収リサイクル
- ・機密文書の溶解処理
- ⇒月々200kgの可燃ごみ削減を達成！



福島テレビは国連が掲げるSDGメディア・コンパクトに加盟しています



## 困防災情報

<https://www.fukushima-tv.co.jp/bosai/movie/>

## 令和3年度 福島議定書取組内容



## 福島テレビ株式会社

Fukushima Television Broadcasting Co., Ltd., Since,1962

私たちは地球に優しいテレビ局でありたい

美しいふるさとを未来へ



## ◆メディアとしての役割

世界規模で起こる気候変動により、私たちの暮らしは常に脅かされています。福島テレビは、度重なる災害の経験から「犠牲者ゼロ」につなげるために、防災報道を強化。2014年から弊社社員の気象予報士による独自の詳細な気象情報の提供、「県民の防災意識の変化に寄与すること」を狙い、防災情報を有事の際だけではなく継続的に伝えています。

- ◆自社番組テレレポートプラス内「防災大百科」で防災知識の普及
- ◆気象コーナー「防災ラボ」は暮らしに密着した防災情報を発信
- ◆自治体・企業と協定を結び 災害時の速やかな情報の共有
  - ・2020年12月ヤフージャパンと防災パートナー提携
  - ・2021年9月 阿武隈川流域17市町村と防災情報協定締結

災害時に地上波放送・ネット・SNSで危険情報・ライフライン・避難場所を告知



## ◆社会貢献活動

- ・街なか／猪苗代湖の清掃
- ・プラゴミ削減呼びかけ
- ・マイボトルの持参推進
- ・エコバッグ・防災風呂敷の制作





# 従来編 製造業等部門 最優秀賞

## アルパイン マニュファクチャリング株式会社



アルパインマニュファクチャリング(株)はアルプスアルパイン(株)グループの一員として環境活動推進に取り組んでいます。



浜岡工場



小野町工場



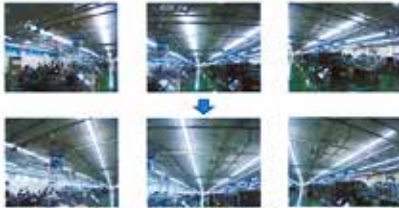
### 福島議定書取組内容

#### 各節電取組み

新規取組

★工場内照明のLED化★

蛍光灯からLED照明に変更。使用電力削減：約5000kWh(1ヶ月)



新規取組

★電力モニターを設置⇒エリア毎使用状況の見える化★



新規取組

★休日待機電力の削減★



#### 環境意識向上取組み

新規取組

★環境朝礼★放送プログラム 6月・11月(全22テーマ)

アルプスアルパインの環境放送をアルパインマニュファクチャリングの全工場で放送。

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 01. 環境の日              | 12. 風力発電符号          |
| 02. 日本の動き             | 13. 次世代エネルギーパーク     |
| 03. カーボンニュートラルとは      | 14. SR              |
| 04. カーボンニュートラルの実現にむけて | 15. Reduce (リデュース)  |
| 05. なぜ2050年までに        | 16. Reuse (リユース)    |
| カーボンニュートラルを実現するのか     | 17. Recycle (リサイクル) |
| 06. カーボンリサイクル         | 18. 家庭での省エネ、        |
| 07. SDGs              | 家電の買い替えについて         |
| 08. SDGsを環境の観点で考える    | 19. 家庭での省エネ、冷蔵庫     |
| 09. 再生可能エネルギー         | 20. 家庭での省エネ、エアコン    |
| 10. 太陽光発電             | 21. 家庭での省エネ、洗濯機     |
| 11. 水力発電              | 22. 宇宙地球探査          |

新規取組

★夜勤者へ意見募集★



#### 水害減災取組み

継続実施



#### 廃棄物削減取組み

新規取組

★廃棄物削減アイデア会議★

①職制にて、再利用方法検討

②若手社員から  
アイデア聞き取り



③一般社員から  
アイデア募集

★廃棄物削減アイデア大募集★



新規取組

★廃棄物削減アイデア会議⇒具体化★

廃棄物削減で提案のあった廃棄物利用のクッションを作成 ⇒ 500枚作成



#### 節水取組み

新規取組

★トイレのタンクにペットボトル設置★



# 従来編 運輸・設備業・その他部門 最優秀賞

## 山木工業株式会社

### 熱中症対策の実施（適応分野：気候変動対応策）

熱中症ゼロを目指す。（作業所等）

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、「新しい生活様式」として、感染防止の3つの基本である1. 身体的距離の確保、2. マスクの着用、3. 手洗いや、「3密（密集、密接、密閉）」を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践することが求められています。「新しい生活様式」における熱中症対策として、①マスクの着用：高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなり、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずすようにしましょう。②エアコンの使用：新型コロナウイルス対策のためには、池畔時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があり、エアコンの温度設定を下げるなどの調整をしましょう。③涼しい場所への移動：少しでも体感に異変を感じたら、屋外でも日陰や風通しの良い場所に移動する事が、熱中症予防に有効です。④日頃の健康管理：定期的体温測定等が、熱中症予防にも有効です。また、体調が悪いと感じた時は、無理せず自宅で静養するようにしましょう。

※2021年度適応分野（気候変動対応策）（目標）熱中症ゼロを目指す・・・熱中症発生はゼロでした。

・熱中症対策グッズ



・安全講習会（熱中症対策等）

・作業現場の環境改善



### Web会議の導入による環境負荷低減（2021年2月～）

ペーパーレス化と不要な出張旅費の削減効果

弊社におきましても、2021年2月よりWeb会議の本格導入を実施しております。弊社1階会議室及び2階会議室さらに小浜浜事業所にも大型液晶モニターを設置し、親会社でありますオリエンタル白石㈱（東京）とインターネット回線で映像や音声、資料の共有などをオンライン上で行い、会議を実施しております。不要な出張がなくなった事による環境的なメリットばかりではなく、出張に要した時間を重要業務の遂行・考察に充てることが出来ます。

資料などをオンラインで共有することは「情報共有の簡易化」につながり、ある程度のペーパーレス化も実現し、説明文も共有すれば、会議時間の短縮にもつながります。

さらに、5Gが普及すれば、よりスムーズな会議が実施出来るでしょう。

コロナ禍の状況の中、Web会議を導入して仕事の効率化を図る事は、

もはや未来的なことではなく、普遍的なことになりつつあります。

・1階会議室



・2階会議室



・小浜浜事業所



### 社会貢献活動取組状況

エコキャップ運動（重点分野：プラスチックゴミ対策）



海洋ごみにもさまざまな種類がありますが、もっとも問題とされているのが半分以上を占めるプラスチックごみであり、雨で溶けたごみが水質や川に流れ出し、やがて海へとたどり着くのが原因であります。海洋ごみのプラスチックごみは、プラスチック製品を私たち消費者が使い、そして処理を適正に行っていないことが大きな要因となっております。

私たち消費者が、プラスチックごみの削減・海洋プラスチックを出さないためには、※3R実践をお願いします：「リデュース（Reduce）」（出さない）「リユース（Reuse）」（再使用する）「リサイクル（Recycle）」（再利用する）必要があります。



併せとしましては、「キャップ専用回収ボックス」を、「本社2小浜浜工事事務所34号増地増工事現場事務所」に常設設置しております。

※2021年度重点分野（プラスチックごみ対策）（目標）エコキャップ運動に積極的参加・・・7回収出出来ました。

・エコキャップ提供



・エコキャップ提供先：新潟江物産福島



本社層「LED蛍光灯」の入れ替（2021年8月29日～）

1階、2階、3階を新しくしました。今後も、節電活動を継続して実施してまいります。

・1階 照明部



・1階 制御部



・2階 土木・建築工務部



・3階 大浜橋部





# 従来編 オフィス・店舗等部門 優秀賞

## 生活協同組合 コープあいづ

令和3年度「福島議定書」取り組みの概要

### 温室効果ガス削減目標

温室効果ガスの排出量を、2030年までに2013年比45%以上削減する。2050年までに90%以上削減する。

※今後、福島県のカーボンニュートラル宣言を受け、更に高い目標への更新を検討しています。



### 節電の取り組み

#### LED照明

店舗の天井照明やスポットライトなどは、すべてLED照明に変更しています。



#### 夜間の停止

店舗の飲料冷ケースやお惣菜売場など、閉店後の冷却を停止しています。また、プレハブ冷蔵庫のファンも夜間は停止させています。

#### 室外機の冷却

空調機・冷ケースの室外機に自動噴霧装置の設置し、タイマーによって、ピークとなる時間帯に自動噴霧装置で室外機の熱交換フィンへの水かけを行い、効率のより運転とピーク時の電力消費の抑制を行っています。



配管の断熱により放熱ロスを抑制

#### フロン使わない冷ケースの導入

フロン対策だけではなく、同じような冷ケースと比較して約15%程度省エネになります。また、蒸つきのケースを採用し、冷気の流出を防ぎます。



#### 効率的な配送コース

宅配や灯油の配達コースを、地図システムを活用して定期的に見直しをしています。エコドライブシステムを活用し、無駄なアイドリングや急発進急ブレーキなどを行っていないか確認して、ECOで安全な運転に取り組んでいます。



### 適応分野の取り組み

温暖化に伴う災害リスクを最小限にする為、3日前からのラインを策定し、いち早い事業再開を目指します。

### プラスチックの削減

#### マイバッグ持参の取り組み

コープあいづでは、これまでレジ袋を使用しない取り組みを行っており、レジ袋辞退率は約90%となっています。使用しないことで、原油で38,046Lの削減、CO<sub>2</sub>で15,311kgの削減となります。

#### バイオマス素材のレジ袋

レジ袋を、バイオマス素材のプラスチックに変更し、化石燃料由来のプラスチックの削減をしています。切替によって、原油で4,361Lの削減、CO<sub>2</sub>で17,551kgの削減となります。



#### エシカル消費

プラスチックの使用量を抑制したペットボトル飲料や再生プラスチックを使用したレトルトカレーなどの普及を行っています。



ラベルの長さを短くしました  
本体の重量 31g→24g



回収ペットボトルを使用した包装材料を使用。

# 従来編 製造業等部門 優秀賞



## 「福島議定書」事業 取組内容

豊かな地球の未来を守るために、従業員一人一人が事業活動を通じて環境保全に取り組んでいます

### 緩和分野

#### ★節電

- 事務所・工場の照明設備のLED化
- 昼休み時、事務所内消灯

#### ★ゼロミッション

- 裏紙の再利用
- 仕入時の段ボールや包装材の再利用

#### ★使用燃料の削減

- 水素燃料自動車の使用

水素社会の実現に向け、水素自動車の普及啓発を実施しています



#### ★意識向上

●全社有車にドライブレコーダーの設置  
車両毎の運転診断レポートを基に、低燃費運転や安全運転の呼びかけの実施

走行時間 走行距離	燃費 (L/100km)	燃費 改善率	燃費 改善率 目標値
2021/12/24	1	28.5	28.5
2021/12/24	2	28.5	28.5
2021/12/24	3	27.6	28.5

運転状況を  
見える化し、  
安全意識の向上を  
図っています



### 適応分野

#### ★風水害等の被害対策

- 構内、排水路の定期清掃
- 自然災害時に安否確認ツールやハザードマップ等の活用

#### ★暑さ・熱中症対策

- エアコン温度の徹底管理
- 熱中症予防ポスターの掲示
- 熱中症指数計の設置
- 空調服の支給
- 塩飴、熱中症対策飲料の無料提供

毎年、熱中症対策の指導を行い熱中症発生ゼロを目指しています



自身でいつでも水分補給出来るよう、熱中症対策飲料用コインを配布しています

### 重点分野

#### ★プラごみの削減

- 詰め替え用製品など環境に配慮した製品（エコ製品）の購入
- エコバッグ、マイボトルの推進

マイボトルだけではなく、マイカップも持参しています！



使い切り容器の削減に努めています

- ペットボトルキャップ、プルタブの回収





# 従来編 運輸・設備業・その他部門 優秀賞



佐藤工業株式会社

令和3年度

福島議定書事業2021～ゼロカーボンへの挑戦～

## 福島議定書の主な取組について

### 緩和分野に関する取組

#### 節電・節水等

節電や節水等に関するポスターを印刷スイッチや出口付近に掲示。メールでの通知や環境新聞を発行し、社員の環境意識の啓蒙を行っています。



#### 地域貢献

地域環境保全のために、毎月第1土曜日に本社近くの地下歩道及び本社周辺の清掃活動を行っています。道の白にちなんだ道端美化活動等にも参加しています。



#### ゼロエミッション・プラスチック製品からの転換

プラスチック製品を排除するために、ベンダーと連携して本社ビルにある自動販売機の食品をペットボトルから缶詰への転換を行いました。併せて、併設してある空き容器の回収ボックスも全て缶専用に切り替えしています。なお、この自動販売機はLED照明や自動消灯機能などが付いた省電力タイプです。



#### 太陽光発電の利用

社屋や関連施設に太陽光パネルを設置してCO2削減を図りました。



### 適応分野に関する取組

#### 熱中症対策

現場では、炎天下や熱のこもりやすい屋内などでの作業が多いため、機材庫やボスターなどで換気を行い、熱中症の指数計の設置や換気扇などによる日々の体調管理を行うとともに日よけテントやミスト扇風機の設置、飲料水の配布などを行うことで熱中症対策に努めました。また、近年使用されるようになってきた換気用のファンがついた空調機を社員にも配布し熱中症発生防止に努めました。このほか、全社員へ向け当日の熱中症情報を発信したり、警報が発令された場合は同様社員の携帯電話へその都度、情報発信を行いました。



#### インターンシップ受け入れ

地域の大学や高校から、インターンシップや職場体験の受け入れを行い、現場での仕事や社内の実務などの体験を通して当社の実情について理解を深めていただきました。



#### BCPの策定

BCP(事業継続計画)を策定し、地震や風水害などの自然災害に備えています。また、現場においてはこのBCPを踏まえ、対応手順を施工計画等に盛り込むなどして災害対策を講じています。



人と自然、地域と共に。

### 重点分野に関する取組

#### ごみ分別

本社と現場それぞれで、ごみの種類ごとにゴミ箱やカゴなどを設置して、ごみ分別の徹底を図りました。ペットボトルについてはゴミ箱を全て撤去し、ペットボトル製品を使用しにくい環境づくりを行いました。



#### カーボンオフセット品の採用・リサイクル等

ユニホームはリサイクル可能なユニホームや、カーボンオフセット対応品を採用しています。



生命を生み育てるかけがえのない自然を次代へと受け継いでいくために、私たちは、地球に優しく自然と調和のとれた住みよい環境づくりに努めます。



# 従来編 団体部門賞

## 「福島議定書事業」大槻電設工業株式会社・大槻商事株式会社 令和3年度『エコキャップ・プルタブ収集運動』活動報告

2月1日は、弊社創立記念日です。  
おかげ様で創立76年を迎えることができました。  
全社員にお祝いの「紅白饅頭」を配りました。

**目的**  
私たちは、地域社会に貢献する取り組みとして、  
全社員で「エコキャップ・プルタブ」の収集活動を実  
施し、創立記念日に福島市内の小中学校に寄贈して  
います。  
今後も「福島議定書事業」の一環として、  
引き続き収集活動を実施します。

**目標**  
1人あたり20個以上を集めることにする。  
どの部署も毎月のノルマを大幅に上回った。



残念ながら今年も感染拡大防止のため、  
非対面で寄贈しました。  
来年こそは直接お届けしたいです。

福島第一中学校寄贈風景



寄贈式編 令和4年2月1日  
福島市立福島第一中学校  
皆さまのご協力のおかげで  
今年もこんなにたくさん集まりました。

●「エコキャップ」	50,200 個
●「プルタブ」	38,600 個
合計	88,800 個

※算出基準: プルタブ=3個:1g エコキャップ=1個:2g  
衣装ケース1個あたり「エコキャップ 5,000個程度」

近隣企業の(株)山長様からもご協力いただきました。

尚、我々の善意を下記の学校に寄贈し、  
支援することになりました。

今回は、福島市教育委員会を通じて  
「福島市立福島第一中学校」に全て寄贈しました。

今後も引き続き「エコキャップ・プルタブ収集運動」を実施します。  
更なるご協力を宜しくお願い致します。



### 出発式風景

今年も私たちの善意の気持ちをお届けします。

新型コロナウイルス感染予防対策  
今年も徹底しました！！

集計作業風景





# 従来編 緩和分野賞

## 大槻電設工業株式会社・大槻商事株式会社

### 令和3年度「福島議定書」事業 新たな取り組み

#### 適応分野の取組

カーボンニュートラルの実現可能を目指し「脱炭素」へ向けた自社の新たな取り組みとして、「SDGsへの取組み」を作成し「地球温暖化防止のために私たちができること！」を考え、「強い意識改革」とコミット面とが原動力となり課題解決に向けて行動することで、新しい未来を切り開きます。

自社の強みを生かした取り組みでは「災害時でも電気を止めない」の普及活動を実施しています。「ポータブル電源(蓄電池)」と、さらにソーラーシステムを活用することで災害時においても安定した電気を供給できる簡易的な設備機器の普及推進活動をしています。

その他、この設備を社内イベントのハロウィンにも応用し、省エネを意識した開催し、楽しむことができました。このイベントを来年以降も継続します。



「省エネ委員会」を通じて、防災教育重視したSDGsへの取り組みを始めました。

近年の気候変動等により、これまで経験したことのないような激甚災害が頻繁に発生していることから、「防災」を自分たちの身近な問題としてとらえ、自然災害の正しい知識を知り、災害時の取組みを主とした教育訓練を継続しています。防災意識を高め、地域社会に貢献できるよう努めます。

今年度から自社の「SDGsへの取組み」に関するメッセージボードを作成し、職員玄関に設置しました。

全社員へ周知することで、意識の向上を図っています。又、ホームページにも掲載しました。



#### 重点分野の取組(新規)

新たな取り組みとして「子ども食堂」の運営支援にも協力を始めました。

引き続き、「レジ袋削減」を目標に全社員にエコバックの利用推進に努めています。

プラスチック資源循環戦略に基づいて、プラスチックゴミの削減と有効利用促進に努めています。



会社全体でメッセージボードを活用し、ゴミ減量に向けて、啓発活動と様々な対策を講じています。





# 従来編 緩和分野賞

## 郡山女子大学・同短期大学部の森づくり(県内5カ所)

### ①鞍手山開成の杜 (国有林)

郡山市熱海町に檜の苗木5,100本を平成8年に植樹。



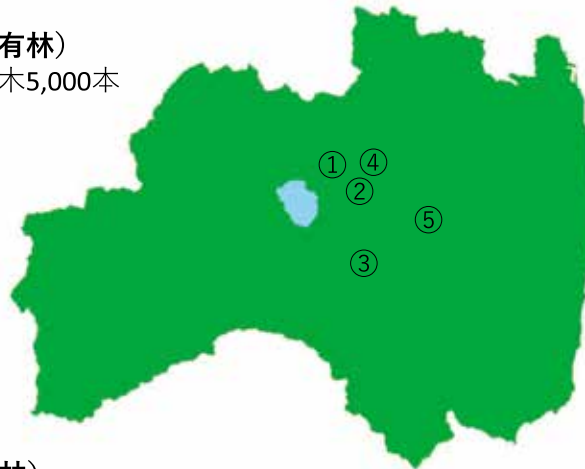
### ④石筵開成の杜 (学園総合教育園)

郡山市熱海町石筵地区に檜の苗木7,000本を平成15年に植樹。令和元年～3年度福島県森林自己学習支援事業を活用し、植樹、間伐体験等を実施。間伐材の有効利用(林道整備、コースター)を図った。



### ②安子ヶ島開成の杜 (国有林)

郡山市安子ヶ島に檜の苗木5,000本を平成20年に植樹。



### ③高土山開成の杜 (国有林)

須賀川市長沼町に杉の苗木4,300本を平成13年に植樹。



### ⑤福島ふれあいの森 (国有林)

日本環境協会が東日本大震災により被災した東北3県に緑と心の復興を目的として、地元のドングリを種から苗木まで全国の方に育てていただき、苗木を3県へ植樹した。本学は当初から活動していた事もあり、福島ふれあいの森での活動を引き継いだ。



# 従来編 適応分野賞

くらしの応援業

## 令和3年度「福島議定書」事業 取り組み紹介

Seeds 株式会社シーズ

会社全体での取り組みを決め、かつ各事業所に合った取り組みを実施することで、更なる活動を推進しています

### 1. 緩和分野の取組結果

#### ◆啓発活動◆

各事業所にポスター等を配布して、啓発活動を行っています

・節電ポスター ・ごみ分別ポスター ・認定証他ポスター



#### ◆節電対策◆

昼休みの蛍光灯OFFやエアコンの使用法、生産工程等を見直し電気の使用を削減しています

・居室内節電（昼休み）



#### ◆節水対策◆

こまめに蛇口を閉め、トイレには音姫を設置しました

・音姫設置



#### ◆みんなでエコチャレンジ◆

社員全員に用紙を配布し、まとめて応募しました

#### ◆使用燃料の削減◆

車両の定期点検を行ったり、重機等のエンジンをこまめに止めました

・車両の点検



#### ◆コピー用紙の再利用◆

片面コピー済み用紙を再利用し紙の使用を削減しています

・エコドライブ講習会



#### ◆エコドライブ講習会◆

エコドライブ講師派遣に申し、講習会を開催しました（8月23日）

### 2. 適応分野の取組結果

#### ◆グリーンカーテンの設置◆

工場ごとにグリーンカーテンを設置しました  
・グリーンカーテン① ・グリーンカーテン②



#### ◆場内緑化◆

町の緑化事業に参加し、サクラ・ツツジを植栽しました

・ツツジの植栽



#### ◆構内の排水路の清掃◆

定期的に構内の排水路を清掃しています

### 3. 重点分野の取組結果

#### ◆マイボトルの推進◆

各自マイボトルを使用することで、ペットボトル等を削減しています

・マイボトル



・社有車両にエコバック



#### ◆マイバックの推進◆

社有車両にエコバックを設置しました

### 5. その他の取組結果

#### ◆省エネアドバイザー診断◆

省エネアドバイザー派遣事業に申し、省エネ診断を実施しました（8月24日）

・省エネ診断



### 4. 社会貢献活動

#### ◆清掃活動◆

毎年、関連会社他と合同で清掃活動を行っています

・国道118号線 道路清掃 ・JR磐城石川駅駅舎清掃 ・久慈川 河川清掃



#### ◆CSR活動◆

社内CSR委員会を立上げ、昨年よりウォーキングクリーン作戦を実施し、町内及び工場周辺のゴミ拾いを行っています

・ウォーキングクリーン作戦①

・ウォーキングクリーン作戦②



#### ◆募金活動◆

歳末たすけあい・赤い羽根共同募金、「愛は地球を救う」24時間テレビの募金活動を行っています

・24時間テレビ 募金

・共同募金



#### ◆献血活動◆

毎年献血に協力しています

・献血



#### ◆地域スポーツチームへの協賛◆

福島ユナイテッドFCに協賛しています

・タベストリー





# 従来編 適応分野賞



**富士フイルムビジネスイノベーションジャパン 福島支社**  
令和3年度「福島議定書」事業／おもな取り組み内容

## ●SDGs社内教育の実施と啓発



「気候変動」への対応を含め、あらためて「SDGs」の目的や内容、そして自分たちが携わっている事業活動との関連について学びました。

## ●Web会議、Web研修、オンライン商談の積極的推進

感染症予防をキッカケとして活用し始めたWeb（リモート）会議などは、自動車や電車での移動が無くなったことにより、結果的にエネルギーの削減や時間の節約につながりました。



## ●環境パフォーマンスデータの社内共有



CO2排出量をはじめ、電気使用量、ガソリン使用量、用紙使用量、廃棄物排出量、環境法令の順守状況などのモニタリングデータをまとめ、「環境月報」として社内内で共有しています。

## ●SDGsポスターデータの無料配布

職場での推進活動にお役立ていただける各種ポスターを無料で提供しています。すべてのポスターに「SDGs 17の目標」アイコンを掲載しました。



## ●「ふくしまゼロカーボンDAY！」への出展

2021年11月に開催された「ふくしまゼロカーボンDAY！」でブースを設け、Web会議システムの紹介やSDGsポスターを配布させていただきました。



富士フイルム ビジネス イノベーション ジャパン 株式会社 福島支社  
〒963-8014 福島県郡山市虎丸町21-7 グランディ虎丸 Tel 024-927-1011 fujifilm.com/jp

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。本ドキュメントは富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている場合があります。商標登録は富士ゼロックスインテグレーション株式会社です。Xerox、Xerox ロゴ、およびFujifilm Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。本ドキュメント上に記載「表示された各名または商標などは、各社の登録商標または商標です。本表の内容は2023年10月現在のものです。

# 従来編 重点分野賞



## 2021年 中テレSDGs アクションレポート

### 環境課題に対する取り組み

#### ごみ拾いを県民運動に!

福島県民1人あたりのごみ排出量がなんと全国ワースト2位! 中テレは、さまざまな活動を通じてごみ減量化にむけた県民運動を展開していきます

#### 拾ったごみの重さは6トン超!

(2021年6月30日現在)



**Chu!** 毎週 月曜日  
15:50-16:50

県民1人あたりのごみ排出量は、福島県が全国ワースト2。(2019年度)  
番組を通して少しでも福島県内のごみを減らし、また捨てる人がなくなるよう、SDGsの  
理念とも合致する、持続可能な環境美化を目指す「ゴミゼロChu!」人気コーナー。



道端に落ちているごみは、ただのごみにあらず。  
拾えば拾うほど、自然豊かな福島県を取り戻すことが出来るのです。そこでコーナーでは、拾うごみを「希望のカケラ」と名付け「ふくしまを綺麗にしよう」というポジティブなメッセージを視聴者に届けています。  
地元の方ともコミュニケーションをとりながら、今回も「希望のカケラ」ごみをたくさん拾いました。



「ブンケンさんとごみ拾いがしたい!」  
番組にはこのような声がたくさん寄せられています。その多くは小学校などの教育機関です。SDGsが学校のキャリアプランに取り入れられ、環境保全について学ぶ機会も増えたこと、ブンケンさんの前向きで実直な姿が子どもたちに大変人気になっています。もはや「子どもたちのヒーロー」がもしも実現。



#### 海ごみ削減プロジェクト

#### 6月6日 県内一斉清掃活動

県内5か所総勢723人が参加

6月6日(日)、郡山市、福島市、会津若松市、いわき市、南相馬市の5か所で、「県内一斉清掃活動」を開催。地元自治体、企業、ボランティア団体、教育機関などの皆さんと一緒にごみ拾いを行い、可燃ごみ286袋・不燃ごみ44袋を集めました。次回は9月に開催予定です。



#### DUNLOP SRIXON Fukushima Open 連携アクション



#### 開催地で 清掃活動+チャリティブース

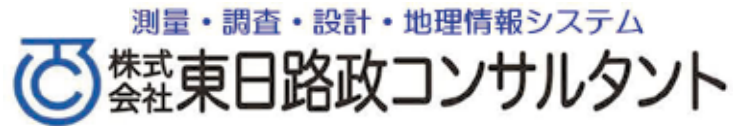
開催地となっている西郷村は阿武隈川の源流地域ということもあり、「きれいな川で大会を盛りよう」をコンセプトに、地元教育委員会・小学校、中学校、南郷コース、地元プロの皆さんと協力して清掃活動を実施。大会期間中には、活動報告十大会出場選手のグッズが当たるチャリティブースを展開、「海洋ごみ削減」への啓発を進めるとともに、30万円を超えるチャリティが寄せられました。いただいた浄財は福島県環境基金に寄付いたします。

**中テレアプリで「SDGs県民アンケート」実施**

3月、「SDGs」について、中テレアプリを使った県民アンケートを実施しました。アプリをダウンロードして回答率が60%超、一方で「わかりにくい」という声も。17のコーナーのうち、関心が高いジャンルは...詳しくは、QRコードからご確認ください。



# 従来編 奨励賞



## 「福島議定書」事業 取組内容

弊社は、2008年から「福島議定書」事業へ参加し、地球温暖化対策の実施をしております

### 日々の取り組み

#### ■ 節電

- ・ 冷暖房の温度管理の徹底
- ・ 不要照明の消灯
- ・ 休憩時間の消灯

#### ■ 節水

- ・ 節水ノズルの設置

#### ■ 使用燃料削減

- ・ アイドリングストップ宣言
- ・ エコドライブの徹底、管理
- ・ ノーマイカー勤務の推進活動

#### ■ 社内啓発活動

- ・ 社内ポスターの作成、掲示
- ・ 社内会議での省エネ対策の協議

#### ■ 可燃ごみの削減

- ・ ごみの分別



### LED照明器具への変更

2014年から社屋すべての照明を蛍光灯からLED照明へ変更し、消費電力の削減を行っております



### 太陽光発電設備の導入

2014年から太陽光発電パネルを設置し、再生可能エネルギーの設備を整えております



### カーボンニュートラルの実現を目指して

2021年から水素エネルギー（燃料電池自動車）を導入し、走行時の二酸化炭素排出量削減を進めております

# 従来編 奨励賞

## ひまわり信用金庫

### 1.緩和部門の取り組み

★営業車両に電気自動車 5 台、水素自動車 2 台を導入し、ガソリンの使用削減に努めております。

電気自動車



水素自動車





# 従来編 奨励賞

## 令和3年度「福島議定書」取組報告 東レフィルム加工株式会社 福島工場



### 環境に配慮した製品例

#### 【包装材料フィルム】

食品・日用品などの包装用途において、バリア性・密着性等の多彩な機能を持った包装材料を提供し、食の品質・安全の確保によりフードロスの低減に貢献しています。また、含塩素材料を使用せず、焼却時に塩素系ガスの発生が無く、環境負荷削減にも大きく貢献します。



#### 【工業材料フィルム】

液晶テレビ等の製造工程で使用される高精度な離型フィルムです。液晶テレビによる消費電力減少により環境負荷削減に貢献します。



### ゼロエミッションの継続

当工場では産業廃棄物の削減とリサイクルを推進しています。世界情勢の変化に伴う有価物から廃棄物への移行や、新装置の追加による増産で廃棄物の削減には至っていませんが、再資源化が可能な処分先を確保することで単純廃棄物1%以下を継続しており、10年連続でゼロエミッションを達成中です。



### 電子マニフェストによる廃棄物管理

当工場では産業廃棄物の管理向上のため、2018年に全ての委託先へのマニフェスト(産業廃棄物管理票)発行を電子マニフェストに切り替えて運用しています。また、委託先への現地確認を毎年実施することで処理状況の管理も行っています。



### 地球温暖化対策(省エネ改善活動)

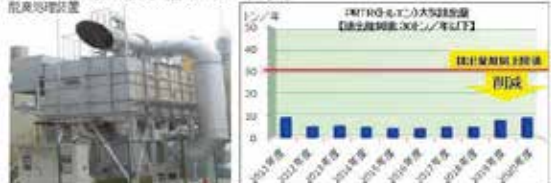
当社では地球温暖化の緩和に向け、省エネ改善活動を計画的に実施し、使用している電力、LPG等のエネルギーに対し、機器の更新や照明のLED化、省エネ機器の導入等の設備投資を含めた効率的な利用を推進しています。効果は生産量当たりの消費量(原単位)で管理しています。

#### エネルギー原単位の推移



### 化学物質の大気放出削減

当工場では製造工程で有機溶剤(トルエン等)を使用していますが、2008年までに計429百万円を投じ、化学物質の大気放出をほぼカットする排ガス処理装置を4基設置しました。今後も大気汚染を防止するため、定期的な測定や維持管理を徹底して、大気汚染防止法やPRTR法などの法規制の順守に努めます。また、技術開発等による有機溶剤の使用量削減にも積極的に取り組んでいます。



### 地域社会との共生

当工場では「地域社会との共生」を目指してボランティア清掃活動や地域イベントへの参加など、近隣の皆様とのコミュニケーションを図っています。



# 従来編 奨励賞

(株)小野中村



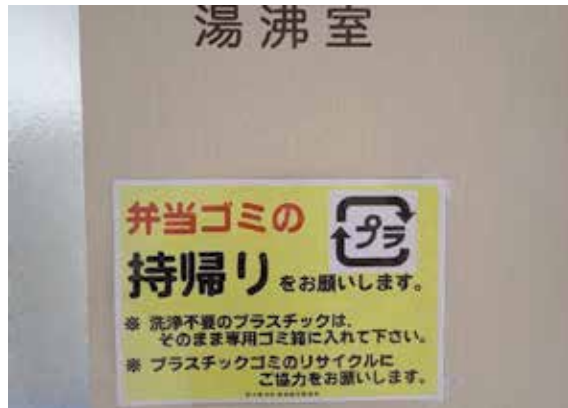
熱中症対策(1)



熱中症対策(2)



ゴミの分別への取組み



プラスチックゴミのリサイクルへの取組み(1)



プラスチックゴミのリサイクルへの取組み(2)



エコキャップ運動への取組み



# 上級編 最優秀賞

## 株式会社クレハ & クレハグループ 2020年度CSR活動報告

### 1. 会社紹介

私たちクレハは、独自の製品を数多く創出してきた技術開発型企業です。  
 私たちは、企業理念に基づき、私たちの強みを活かしながら社会に価値を提供することで、持続可能な社会に貢献するとともに、エケレント・カンパニーを目指します。



#### 沿革

1944年	呉羽化学工業創業
1953年	塩化ビニレン樹脂の生産開始
1969年	炭素繊維<クレハ>販売開始
1977年	抗悪性腫瘍剤<クスチン>販売開始
1987年	樹脂製品<フォートンKPS>発売
1991年	慢性腎不全用剤<クレメジン>発売
1993年	農業用殺菌剤<メトコナゾール> <イコナゾール> 発売 電極用バンダー<KFホトマー>発売
2005年	社名を株式会社クレハに変更
2012年	PGA米国プラント商業運転開始
2015年	ポリマ化ビニレン中国プラント商業運転開始

#### <いわき事業所の紹介>



いわき事業所はクレハの主力生産拠点として、1944年に呉羽化学工業(株)錦工場として生産を開始しました。現在に至るまで、様々な分野にわたる製品を生産し、世界へと供給しています。

111万5千m<sup>2</sup>の広大な敷地の周囲には、産業廃棄物を処理する株式会社クレハ環境が隣接するなど、環境に配慮した理想的な生産拠点を構築しています。

- 主な生産品目
  - ・ポリフェニレンサルファイド (PPS)
  - ・ポリフッ化ビニリデン (PVDF)
  - ・炭素製品
  - ・マイクロスフェア
  - ・クレメジン
  - ・苛性ソーダ
  - ・クロルベンゼン
  - ・NEWクレラップの原料 など

### 2. 環境活動報告

- <二酸化炭素排出量削減への取り組み>
- クレハグループのCO<sub>2</sub>排出削減目標の策定

2030年度までに段階的に削減を進め、クレハグループのエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量を絶対量で2013年度比20%削減の37.6万トンとする。  
 (2013年度のクレハグループのエネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量は47.0万トン)

～目標達成に向けた取り組み～

- ・いわき事業所の石炭火力発電所の稼働抑制
- ・グループ会社における主力電源の再エネ電力への切り替え
- ・大規模設備・機器の更新時の高効率化
- ・各種省エネ活動の推進



#### <廃棄物リサイクルへの取り組み>

生産活動にともない事業所から排出される廃棄物の発生抑制や再資源化を推進し、最終処分量の削減に努めています。  
 ～事例紹介 石炭灰のリサイクル～  
 場内の石炭火力発電所で副産される石炭灰を、セメントなどの原料として再資源化処理業者に委託してリサイクル率向上を図っています。

#### <「カーボンニュートラルプロジェクト」の設置>

クレハグループの2050年のカーボンニュートラル達成に向けた取り組み、およびゼロエミッションの目標達成に向けた産業廃棄物低減対策の実行を、統括・推進する組織として新設しました。

### 3. 社会貢献活動報告

#### <いわき事業所周辺の清掃ボランティア>



地域との交流の一環として毎年春と秋の年2回、いわき市で開催される「いわきのまちをきれいにする市民総ぐるみ運動」に労使共催で参加しています。  
 (2020年度実績)  
 参加人数のべ1,477名  
 燃えるごみ1,377袋、燃えないごみ70袋

#### <災害時の物資供給支援>



福島県いわき事業所は、2018年2月に「災害時における物資の調達に関する協定書」を締結しています。

#### <いわき市の新型コロナウイルス感染症対策への支援>



「第52回市村産業賞\*」貢献賞の賞金300万円を、いわき市の新型コロナウイルス感染症対策への支援として寄付することとし、2020年7月29日に小林社長がいわき市長を訪問し贈呈しました。

\*市村産業賞：リー・三葉グループの創始者である市村清氏により創設された「公益財団法人市村清新技術財団」が、日本の科学技術の進歩、産業の発展に顕著な成果を上げ、産業分野や学術分野の発展に多大な貢献をした個人またはグループを顕彰するもの。

#### <共生社会の実現を目指して>

共生社会の実現を願い、2014年7月、いわき事業所内に特例子会社\*さんしやいんクレハを設立しました。さんしやいんクレハでは、身体・知的・精神それぞれの障がいを持つ従業員が、健康者と共に個性を活かしながら協力して業務を遂行しています。

#### <古紙の資源循環>

クレハでは申請書や報告書の電子化を推進し、紙の使用量削減に貢献しています。そのうえで、排出された古紙は、さんしやいんクレハで再生し、コピー用紙や名刺、ノートとして再利用することで、事業所内での紙の循環を実現し、限りある資源を有効に活用する循環型社会の形成に貢献しています。



\*特例子会社：「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、障がい者の雇用の促進と定数を目的に設立された会社であり、一定の要件を満たす場合に当該子会社で雇用された障がい者を親会社の雇用率に算入することが認められています。

#### <医療での地域貢献>

呉羽総合病院は、いわき市南部の中核病院として地域に密着し、病を看るだけでなく、痛み、症状緩和を含めた質の高い全人的医療の実践に取り組んでいます。また、1983年には院内に「健康管理センター」を開設、2008年に介護老人保健施設「ガーデニア」を病院に隣接して開設しました。



呉羽総合病院



介護老人保健施設「ガーデニア」

#### <廃棄物の適正処理による地域貢献>

株式会社クレハ環境は、創業以来、廃棄物の適正処理を通して社会環境保全に貢献しています。現在では、廃棄物の処理業のみならず、水や大気等の側面から地球環境の保全に向けた努力を続けております。



創クレハ環境 ウェステックいわき 8号焼却炉

#### <その他>

- ・献血活動
- ・いわき支援学校くぼた校への寄付
- ・CSR地域対話集会

# 上級編 優秀賞

## NECプラットフォームズ（株） 福島事業所 令和3年度 福島議定書

### 環境方針

#### 【環境理念】

NECプラットフォームズは自然のいとなみを尊重し、環境と調和した技術開発、生産、製品及びソリューションの提供を通して、世界の人々が人間性を十分に発揮できる豊かな社会と環境の実現に貢献します。

#### 【行動指針】

- 1.当社の技術開発、生産、製品及びソリューションの提供にかかわるすべての領域における環境影響を的確にとらえ、地球温暖化防止の推進、資源の有効利用、生物多様性の保全に取り組むとともに、環境配慮型製品の提供に努めます。
- 2.関係する法令、各種規制及び当社が同意する要求事項の順守はもとより自主管理基準を設定し、環境管理レベルの向上に努めます。
- 3.全員への環境教育を徹底し、環境意識向上を図るとともに、環境活動を通して地域社会への貢献、並びにコミュニケーションを推進します。
- 4.この方針を遂行するため、環境マネジメントシステムを構築し、環境目標を定め、実行し、レビューを行い、継続的改善及び汚染の予防に努めます。



NECプラットフォームズは、人・企業・国がより協調する文化が形成されることで、それぞれが得意な分野で最大効果・最大価値を生み出し、人びとが豊かさや生きがいを実感し幸福になれる持続可能な社会の実現を目指しています。  
「NEC Platforms Vision 2025」で掲げた事業活動や企業姿勢は、「持続可能な開発目標（SDGs）」に対する世界の取り組みと同じ方向を向いており、これを実践していくことが、誰一人取り残さない、持続可能なよりよい未来を創っていくことにつながると考えています。

### ●事業所CO2削減活動

3kWh停止10kW=11MWh (5.5%)

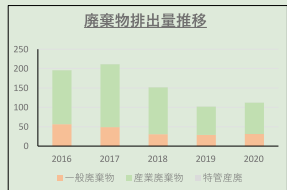
事務所系空調運転時間：5.5t-CO<sub>2</sub>削減

表示ルール

表示	ルール
A	ごまめにOFF 未使用時ごまめにOFF
B	黄色にOFF 4h以上又は休日OFF
Z	停止許可 停止禁止機

電力見える化によるムダ削減：8t-CO<sub>2</sub>削減

### ●廃棄物削減への取組状況



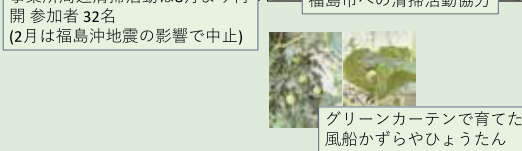
細かい分別ルールを定め実行することで、質の高いリサイクルの実現を目指しています。

2021年度初めから更なる削減のため処理業者を変更、その準備として年度末に、分別基準の見直しを実施し、マニュアルを事業所内の全フロアへ掲示し周知を図りました。また、粘着テープの巻芯回収協力や、懸念だったPCB廃棄物の処理を行いました。



### ●社会貢献活動

2020年度初め、コロナの影響で社内イベントや行事はすべて中止となりましたが、年度途中より感染防止に配慮した新しいやり方で、事業所近くの地下歩道や歩道の清掃活動を再開しました。その他、人との距離に十分配慮しながらグリーンカーテンや、福島市への清掃活動協力などを行いました。



### ●職場交通マネジメントによるCO<sub>2</sub>削減

#### ●クルマ通勤をしなかったことによるCO<sub>2</sub>排出削減量

平均通勤距離 往復(km)	クルマ通勤をしなかった延べ日数												削減量 (t-CO <sub>2</sub> )	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		計
10	682	1337	989	950	642	811	914	740	823	809	806	911	10414	24

継続拡大策

職場交通マネジメント含め、継続拡大のため、関係部門のフリーアドレス化を推進中



# 上級編 入賞

## 日立Astemoハイキャスト株式会社 福島工場 令和2年度「福島議定書」事業への取り組み内容

日立Astemoハイキャスト株式会社は、日立Astemo株式会社グループの一員として環境活動推進に取り組んでいます。

当社は「日立Astemo㈱」のグループ会社として、自動車用のエンジン機器やブレーキ製品を用途とした素形材（アルミダイカスト品、ダクタイル鋳鉄品）を製造しています。福島工場では、球状黒鉛鋳鉄（ダクタイル鋳鉄）のブレーキ部品等、産業用機械部品、砂子、金具等の鋳造製品を生産しています。

環境方針「私たちの地球環境保護への行動で、環境と調和した持続可能な社会の実現に貢献します。」を旗印に、省エネ、廃棄物削減、公害防止の分科会の活動はもとより生産活動の中で品質向上、生産性向上活動そのものが省エネ活動に繋がると考え、従業員全員が情報を共有し活動を行っております。

**環境理念** 「私たちは、世界をリードする先進的なモビリティソリューションの提供を通じて、持続可能な社会と人々の豊かな生活の実現に貢献します」という ambitionのもと、私たちの事業、活動を始め、生み出す製品及びサービスが、地球環境に深く係ることを認識し、その保護を積極的に推進します。

### 環境行動指針（簡略版）

- |                                |               |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 環境関連法令の順守と汚染の予防             | 4. 生態系の保全     |
| 2. 環境管理機能の整備と継続的改善             | 5. 教育訓練、意識の向上 |
| 3. 製品のライフサイクルにわたるグローバルなモノづくり推進 | 6. 情報の開示      |
- 全文は日立Astemoのホームページを参照ください。  
<https://www.hitachiastemo.com/jp/sustainability/environment/>



### 取り組み内容の詳細

#### 1. 温室効果ガスの削減への取り組み

- ・アモルファス変圧器への更新。（3台）
- ・電気炉冷却水のインバータ運転。
- ・集塵機ファンのインバータ運転。
- ・蛍光灯のLED化。
- ・空調機の更新
- ・大幅な受注減に即した生産、電気が稼働体制の構築
- ・場内仕損費低減会議（不良率低減）、保全会議（故障率低減）を月1回開催
- ・2017年1月から稼働を開始した新工場は、計画段階から省エネを推進（高効率モーターを使用、インバータ運転の適用等）



#### 2. 社会貢献活動

- ・インターンシップの受け入れ。
- ・地元教育委員会が主催する、キャリア形成教育「チャレキッズin郡会」で小学生を受け入れていたが今年度は中止となった。



#### 3. ゼロエミッションへの取り組み

- ・ゴミの分別。
- ・産業廃棄物のリサイクル。排出している廃棄物の99%を占める鉛は、セメント材料、路盤材、中子砂へ再利用できる業者へ排出を継続。
- ・グループ会社、客先から出る鉄くず（切粉、プレスくず等）を材料として循環再生利用の拡大。

#### 4. 関連する取り組み

- ・省エネ意識の高揚を目的に「みんなでエコチャレンジ」への全従業員参加、参加率：89%（目標：100%）
- ・啓発ポスター掲示。



#### 5. 今後の計画

- ・太陽光発電設備の導入。
- ・コンプレッサの更新。（200kw、160kw）
- ・コンプレッサ自動台数制御の導入（第1工場、第5工場）
- ・LED化。

# ～参加団体一覧～

※御了承いただいた事業所のみ掲載しております。

【従来編 オフィス・店舗等部門 (136 団体)】
富士ゼロックス福島株式会社
株式会社福島マツダ
株式会社パスコ 福島支社
株式会社東邦銀行
株式会社ダイエー
公益財団法人 湯浅報恩会寿泉堂香久山病院
株式会社二嘉組
福島県土地改良事業団体連合会
福島トヨペット株式会社
株式会社東コンサルタント
株式会社東日路政コンサルタント
郡山女子大学
郡山女子大学短期大学部
公益社団法人福島県トラック協会
北日本電線株式会社 福島支社
株式会社相双環境整備センター
株式会社地質基礎
株式会社インフォメーション・ネット ワーク福島
株式会社凜
株式会社トーカン
株式会社 JERA 広野火力発電所

株式会社福島民報社
社会医療法人福島厚生会 福島第一病院
社会医療法人福島厚生会 介護付有料老人ホーム シャローム
会津大学短期大学部
いわき信用組合
株式会社ユアテック福島支社
キョウワプロテック株式会社
株式会社ラジオ福島
みやぎ生活協同組合 (コープふくしま)
会津信用金庫
郡山信用金庫
白河信用金庫
須賀川信用金庫
ひまわり信用金庫
あぶくま信用金庫
二本松信用金庫
福島信用金庫
福島商工会議所
二本松商工会議所
株式会社テレビユー福島
株式会社ブレイン
相馬共同火力発電株式会社
一般財団法人 温知会会津中央病院

株式会社大東銀行
福島県農業協同組合中央会
株式会社ダイユーエイト
常磐火力産業株式会社
東京電力ホールディングス株式会社 福島第二原子力発電所
日本郵便株式会社 東北支社
株式会社みらい会計
公立大学法人会津大学
国立大学法人福島大学
株式会社リオン・ドール コーポレーション
東北グリーン運輸株式会社
ゼビオ株式会社
株式会社有明
福島さくら農業協同組合
常磐共同火力株式会社 勿来発電所
陸奥テックコンサルタント株式会社
ヘアルーム友
ベスト学院株式会社
福島県電機商工組合
アティ郡山
有限会社郡山みづほライスセンター
福交整備株式会社
株式会社共栄ブレーン

東北緑化環境保全株式会社 原町支社
桑折町役場
東北電力株式会社 原町火力発電所
金山町商工会
有限会社佐藤商会
生活協同組合コープあいづ
生活協同組合パルシステム福島
宮本自動車工業株式会社
社会福祉法人南会津会 特別養護老人ホーム 只見ホーム
ボックス情報システム株式会社
下郷町森林組合
サッポロビール株式会社 東北本部南東北支社
株式会社竹内商店
有限会社榎並商会
下郷町商工会
株式会社本宮会計センター
つみきの家 福島・佐倉下
有限会社サイトーオート
有限会社テレサ
株式会社どりーむオン
有限会社インテク
サイトウ洋食店
国土防災技術株式会社 福島支店

山本商事株式会社
山北調査設計株式会社
キャノンマーケティングジャパン株式 会社 福島営業所
有限会社 スポーツショップワタナベ
昭和技術設計株式会社
株式会社プラスワン・福島
株式会社武田工務店
株式会社藤建技術設計センター
おとぎの宿 米屋
株式会社ヨシケイ福島
株式会社リンクサプライ
古川歯科医院
ESL 英数教室
プリンス理容室
社会福祉法人 西会津町授産場
富久山町商工会
花月ハイランドホテル
富士フィルムビジネスイノベーション ジャパン株式会社 福島支社
株式会社ライフロール
ホテル天竜閣
有限会社小林建業
深谷建設株式会社
医療法人信清会 本町鈴木クリニック



社会医療法人一陽会 一陽会病院
遠藤商店
有限会社丑坂屋
株式会社大和田測量設計
日栄地質測量設計株式会社
有限会社玉藻
福島テレビ株式会社
キャノンシステムアンドサポート株式会社 福島営業部
株式会社リンペイ
公益財団法人 福島県観光物産交流協会
福島県商工会連合会
株式会社ヨークベニマル
株式会社いちい
有限会社サングリーン
一般社団法人福島県銀行協会
株式会社道の駅ひらた
有限会社タムラ部品商会
独立行政法人都市再生機構 福島震災復興支援本部
株式会社ミツワ
福島県生活協同組合連合会
株式会社福島中央テレビ
一般財団法人 日本環境衛生センター 福島支所
オリックス株式会社 郡山支店

<b>【従来編 製造業等部門 (57 団体)】</b>
藤寿産業株式会社
会津パッケージ株式会社
株式会社シーズ
株式会社山川印刷所
大同信号株式会社 浅川事業所
大同電器株式会社
アルパインマニュファクチャリング 株式会社
三宝製菓株式会社 福島工場
新日本電工株式会社 郡山工場
協同組合いわき材加工センター
京セラ株式会社 福島郡山工場
株式会社スズキ製作所 塙工場
共栄印刷株式会社
秋元工業株式会社
株式会社ホクシン
大同化工株式会社
株式会社日ピス 福島製造所
石橋工業株式会社
株式会社いわき印刷企画センター
株式会社グリーン発電会津
株式会社第一印刷
内池醸造株式会社
北光金属株式会社

福島タカラ電気工業株式会社 松川工場
東レフィルム加工株式会社 福島工場
株式会社モリヨシ技研
いわきプレカット協同組合
有限会社新誠電機
日栄工業株式会社
株式会社赤井製材所
東亜通商株式会社
協同組合いわき材加工センター
株式会社クラロン
有限会社ラプリール丸高
有限会社片野製麺所
富士工業株式会社 白河事業所
松阪興産株式会社 福島工場
日本精機株式会社
有限会社服部製作所
野地株式会社
合同会社ばんだいファーム
目黒プレス工業株式会社
株式会社佐川林業
株式会社サンポリ
株式会社矢澤鋳工所 二本松工場
株式会社コムロ
株式会社 TANIGAWA 福島工場
株式会社尾形製作所

NOK メタル株式会社
TSK 株式会社
株式会社勿来製作所
二本松 NOK 株式会社
TSK 株式会社 福島工場
有限会社石山精機
福島キャノン株式会社
有限会社ケープラス工業
株式会社五十嵐製麺

<b>【従来編 運輸・設備業・その他部門 (71 団体)】</b>
山木工業株式会社
東北発電工業株式会社 新地支社
茨城クリーン有限会社
磐城通運株式会社 本社
磐城通運株式会社 平支店
磐城通運株式会社 小名浜支店
磐城通運株式会社 湯本支店
磐城通運株式会社 植田支店
磐城通運株式会社 小名浜支店
小名浜製錬営業所
磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所
大槻電設工業株式会社
大槻商事株式会社
會津通運株式会社

株式会社渡辺組
安積運輸株式会社
株式会社北福島タクシー
福島貸切辰巳屋自動車株式会社
株式会社堀川環境セキュリティ
寿建設株式会社
株式会社ホームドクター
水ケアシステム有限会社
山川産業有限会社
株式会社タイセークリーン
東邦興産株式会社
株式会社クリーン商会
ウッドペッカー有限会社
佐藤工業株式会社
須賀川瓦斯株式会社 LPG 供給センター
株式会社二ノテック
株式会社福産建設
東北ポートサービス株式会社 新地営業所
須賀川瓦斯株式会社 本社
泉電設株式会社
福島交通株式会社
県北清掃環境サービス協業組合
株式会社福島総合エンジニア
一般社団法人 福島市公設地方卸売市場協会

渡富建設株式会社
フタバコンサルタント株式会社
合資会社共立社
大槻電気通信株式会社
ひめゆり総業株式会社
株式会社柳田産業
蓬萊東内科
株式会社ケーイーティ
福興産業株式会社
郡山運送株式会社
株式会社マルト商事
株式会社海老屋運送
株式会社帝北ロジスティクス 倉庫事業部
株式会社小野中村
村岡産婦人科医院 (医療法人 栄真会)
有限会社ボデーショップサトウ
株式会社四輪販売福島
しなのきホーム新横
株式会社 SENYO
株式会社吉田設備
ダイセイ工業株式会社
三友電設株式会社
株式会社大丸工務店
有限会社ボデーショップ早川
有限会社ワタケン
矢祭建設株式会社
有限会社本陣 サテライトあだたら

アテラ株式会社
磐栄運送株式会社
磐栄通商株式会社
渡辺エコサービス株式会社
有限会社スカイオート
東北工業建設株式会社
江川建設工業株式会社

<b>【令和2年度 上級編 (14 団体)】</b>
北芝電機株式会社
AGC エレクトロニクス株式会社 本社工場
公益財団法人 湯浅報恩会 寿泉堂総合病院
ユニ・チャームプロダクツ株式会社 Global 生産本部 福島工場
マレリ福島株式会社
株式会社クレハ いわき事業所
日立 Astemo ハイキャスト株式会社 福島工場
住友ゴム工業株式会社 白河工場
富士通アイソテック株式会社
アルプスアルパイン株式会社 いわき事業所
福島ゴム株式会社
フォルシアクラリオン・エレクトロニクス株式会社 東北事業所
北都オーディオ株式会社
NEC プラットフォームズ株式会社 福島事業所



## 未来のために 今やろう ゼロカーボン福島

地球温暖化対策を県民総ぐるみで推進するための新しいロゴマークとスローガンです。

地球温暖化対策のシンボルとして、  
みんなで取組の輪を広げていきましょう！

ダウンロードはこちら

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/16035a/effpm-rogo.html>



(※) 「地球にやさしい“ふくしま”県民会議」とは…

地球温暖化防止に向けた取組などの環境保全活動を県民総ぐるみで展開するため、民間団体や事業者、行政等で構成される団体であり、平成20年から活動を続けています。